



高崎中学校だより

生徒が生き生きと活躍する「生徒が主役の高中」



第2回愛校作業(8月25日・日曜日)

8月25日(日)に「令和6年度第2回愛校作業」を実施しました。

当日は1、3年生の生徒、保護者約180名が参加しました。6時30分から8時00分までの1時間30分「小鳥の森周辺」「グラウンド周辺」に分かれて作業を行いました。掃除時間やボランティア活動だけではなかなか手が届かない場所(花壇、側溝)も短時間できれいになりました。また、草刈り機、軽トラックを持参していただいた保護者の協力のおかげで、作業もスムーズに進めることができました。

参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。今後とも、PTA活動にご協力をよろしくお願い申し上げます。



高崎夏まつりボランティア活動

8月17日(土)、3年生を中心に高崎夏祭りでボランティア活動を行いました。

朝、8:30から始まった準備も積極的に活動した生徒が多く、商工会の方々にお褒めの言葉をいただきました。途中天候が悪化し、吹奏楽部の演奏が中止になったのは残念でしたが、最後は花火も上がり、生徒にとっては、ひと夏のよき思い出になったことと思います。



教頭の霧島日記

ルーズソックスの女子高生、10年越しの卒業

さて、今回は以前講演でお世話になった真北聖子さんの話題です。真北さんは、16歳の時に脊髄動脈奇形という病気を発症し、その後遺症により車椅子での生活に。これまでの体験をもとに県内各地でオリジナルソングと共に講演を行う他、MRT ラジオパーソナリティーとしても活動中です。(毎週日曜22時~BOOMBOOMBOOM!)

そんな真北さんの Facebook の引用です。

29歳で入学した高校の学校通信にて表紙を飾らせていただきました。

現役女子高生16歳で病気を発症し入院と施設入所でのリハビリに3年もかかった為、泣く泣く復学を諦めた当時。

せめて女子高生でいたくて入院中でもルーズソックスを履いていた当時。

最後の制服に袖を通してみんなにお別れを言いに行った時の寂しさ。

大人になってから「もうちょっと 勉強しとけばよかった」と思うことも増え、29歳で通信制の高校に入学しました。

通信はラクだと思われがちですが、週1、2のスクーリングもあるし、各教科レポートの提出もまあまあ量の量あるし、切り過ぎたら単位もらえないし、定期テストもあるしで、これを仕事しながら、活動しながら、家事も頑張りながらなんとか4年かけて卒業したものでした。

苦手な数学の方程式とやらはキレイさっぱりと忘れてしまったけれど、「学ぶ」ことの楽しさと充実さに心底気づけた学校生活でした。物理的にも精神的にも「学ぶ」ことを死ぬまで続けたいと思えました。

何があっても前向きに、学び続ける真北さんの姿勢に感動です。今ある「当たり前」の日常に感謝しなければと思います。また、学び直すことは何歳からでもできるという勇気をもらえます。

いじめ認知件数「ゼロ」

現在、本校ではいじめ認知件数が「ゼロ」となっています。

今後も何か相談がありましたら、学級担任等にご相談ください。

「いじめゼロ」を継続ができるように、ご協力をお願いいたします。